

第八回

俵奏楽

題字：生井 巖



曲目

昼夜公演

四国路 花のうてなに 作詞作曲構成 本條秀太郎

螢茶屋 作詞作曲構成 本條秀太郎

露のいのち 作詞 秋元松代 作曲 本條秀太郎

通り雨 作詞作曲 本條秀太郎

雨の郡上 作詞 かずはじめ 作曲 本條秀太郎

雨の月 作詞 ふしなみ女 作曲 本條秀太郎

雪の山中 作詞作曲 本條秀太郎

残る月影 松風 作詞 渡若清方 作曲 本條秀太郎

江戸娘 作詞 かずはじめ 作曲 本條秀太郎

廓八景 作詞 那司正徳 作曲 本條秀太郎

「夢の跡・流る・萩枯梗・散りかかる(権八) あの子よい子だ・白拵粉屋・軒の燈籠・夢の跡」



出演

【唄】俵奏 勢ひで

俵奏喜久ひで

俵奏太美ひで

【唄・三味線】本條 秀太郎

【三味線】本條 秀五郎

本條 秀邦

本條 秀浩

本條 秀糸

本條 秀泰

本條 秀慈郎

【二胡】汪成

【囃子】望月太意之助 連中

※本公演の曲目は予告なく変更される場合がございます。



平成24年(2012年) 7月21日 紀尾井小ホール 昼夜2回公演 入場料5,000円[全席自由]

[昼の部]開場:12時/開演:12時30分 [夜の部]開場:16時/開演:16時30分

【主な交通機関】四谷駅(JR線・丸ノ内線)徒歩6分/赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)徒歩8分/永田町駅(半蔵門線・有楽町線)徒歩8分/麴町駅(有楽町線)徒歩8分

【チケットお取り扱い】紀尾井ホールチケットセンター ☎03-3237-0061 / チケットぴあ ☎0570-02-9999 (レコード:166-882) / 本條流家元事務所 ☎03-3329-3158

【お問い合わせ】傳燈樂舎 (橘音楽株式会社) ☎03-3303-5180 ホームページからもチケットのご購入いただけます。

【主催】本條流家元 本條秀太郎 <http://www.honjoh.co.jp> 【後援】日本民族歌謡継承発展協会 本條流 本條会 【狂言方】清野正嗣 【企画制作】傳燈樂舎 【デザイン・印刷】ホッタガクフ

【Photo】Shinohara Hiroyuki

俚奏楽

三味線音楽を担ってきた昔人は、多種多様な手法や奏法を編み出し、現在では長唄、清元節、常磐津節といった音楽ジャンル（流派）がそれらを継承しています。明治時代以降の新しい音楽としては、洋楽の影響の見える斬新な「東明流」や「大和楽」があります。

「俚奏楽」は一九七二年に日本音楽の新しい流れとして創作されました。「俚」という文字は「都」に対する「鄙」を指し示していますが、それだけではなく、ここでは「俚」を田・土・人と分け読み日本民族音楽としての三味線音楽と考えています。三弦の持つ表現の自由闊達さに回帰し、時代時代に歌われてきた“小さなうた達”の断片をも復元再生し、自然発生的に歌い継がれてきた“うた”（自然民謡）、普遍的、民族的な躍動感や旋律をモチーフに、現代に伝統音楽として生まれた三味線音楽なのです。

三弦は美しい旋律を奏で、また一方では豊かな打楽器に変貌し、溢れる想像力を刺激します。目を閉じれば映像が浮かびあがり、自然の“ゆらぎ”のなか、空想の世界へと誘ってくれるのです。

三弦を初めて手にした感激と驚き、その“とき”の視線で創作した音楽が「俚奏楽」なのです。

出演



唄
俚奏 太美ひで



唄
俚奏 喜久ひで



唄
俚奏 勢ひで



三味線
本条 秀英二



三味線
本条 秀慈郎



三味線
本条 秀泰



三味線
本条 秀系



三味線
本条 秀浩



三味線
本条 秀邦



三味線
本条 秀五郎



二胡
汪 成



囃子
望月太意之助



唄・三味線
本条 秀太郎

好評発売中



俚奏楽
「俊寛」
俚奏家は、語り出す三味線の芸術。



俚奏楽
「雪の山中」
「みちのく三番叟」
俚奏家は、三味線音楽の新たな潮流。



俚奏楽
「雨の月」
「寿曹麻機」
俚奏家が、日本人の音響的安心を描き出す。



俚奏楽
「軒の燈籠」
「隅田の流れ」
「うき世道成寺」
俚奏家が、心躍る日本の抒情を表現する。